

事業所名

発達支援ルーム つむぎPLUS

支援プログラム

作成日

令和 6年

12月

9日

法人（事業所）理念		すべてが活かされる社会の創造 あなたに良いものだけを					
支援方針		利用者の方に寄り添い誠実に個別対応をする。 利用者の方の将来の自立自活のためのより良い療育を実践する。					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善○生活リズムや生活習慣の形成○基本的な生活スキルの取得 ◎料理、お菓子作り◎時間に合わせた行動の切り替え◎身の回りの清潔					
	運動・感覚	○姿勢と運動、動作の向上○姿勢と運動、動作の保守的手段の活用○保有する感覚の総合的な活用 ◎体操やダンス、スポーツ◎公園に行く◎視覚、聴覚、触覚を刺激するクイズやゲーム					
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得○空間、時間、数等の概念形成の習得○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ◎ブロックなど立体の物を使った創作活動◎音楽やリズムを使う活動◎五感を刺激する活動◎ビジョントレーニング					
	言語 コミュニケーション	○言語の形成と活用○言語の受容及び表出○コミュニケーションの基礎的向上能力○コミュニケーションの手段の選択と活用 ◎よみきかせ、発表◎伝言ゲーム、早口ゲームなど言葉を用いたゲーム◎考えや行いをプレゼンテーションする					
	人間関係 社会性	○他者との関わり（人間関係）の形成○自己の理解と行動の調整○仲間づくりと集団への参加 ◎地域交流◎ごっこ遊び、なりきり遊び◎共同でする遊び◎身近な人と親密な関係を築くような活動					
家族支援		本人やご家族の意思を大切にしながら、日常生活において共有したり、相談援助や情報を提供できるようにします。 どこにいても安心して過ごせる場の安定。			移行支援		状況に応じて学校や関係機関と連絡を取り合い、将来の進路等の情報共有や支援内容の連携や取り組み等、擦り合わせを図れるようにします。 地域、社会へのつながりの取り組み。
地域支援・地域連携		連携会議を定期的で開催したり、情報収集や意見交換などを行う場に参加し、家族と寄り添いながら、包括的な支援を提供する。			職員の質の向上		社内、社外研修
主な行事等		毎日5領域に沿って、支援プログラムを実地している。 春（花見、ピクニック）夏（プール、BBQ、社会見学）秋（保護者大運動会）冬（クリスマス会、初詣）など、季節に合わせた活動も取り組んでいる。					